

(1) 応募団体に関すること

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

イ 応募団体の業務における 能見台地区センター指定管理業務の位置づけ

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

当協会は、金沢区内の区民利用施設の運営管理業務を行うために設立したNPO法人です。金沢区内全ての地区連合町内会及び関係分野の方々を社員として設立されたNPO法人で、地域や団体と連携して次の業務を推進しています。

- ◆ 地区センターなどの施設を地域住民の活動及び交流の場として、ご利用いただく業務は、当協会の中核的な業務と位置づけています。
- ◆ 利用者懇談会やセンター委員会などを通して、利用者のニーズに応えた施設の円滑な運営管理を行い、満足度の高いサービスを提供しています。
- ◆ 地域交流の拠点施設として、地域団体や自主的なサークルの活動を支援し、地域コミュニティの醸成から「活力とふれあいのあるまちづくり」を推進しています。

イ 応募団体の業務における 能見台地区センター指定管理業務の位置づけ

新しい開発による高層住宅をはじめ大きな住宅地の最寄り駅近くに位置し、利用者数及び図書貸出数は、市内トップクラスです。住民の年齢層が比較的若く、新しい住民相互間や子育て世代の交流の場として重要な役割を果たしています。

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

区民利用施設の管理運営に十分な実績と高い評価を受けています

- ◆ 指定管理6施設、管理受託施設7施設の管理運営を行っており、平成26年度の実績では、全施設合計で約77万人の方々のご利用をいただいております。
- ◆ 市民意識調査(平成25年度)では、当協会の管理施設の満足度はトップランクの評価です。(市平均15.5%、金沢区24.3%)。
- ◆ 指定管理6施設について、指定管理者第三者評価を受けましたが、「管理運営」「サービス提供」「地域交流」など、全ての評価項目に高い評価を受けております。
- ◆ 区民利用施設の一元的な管理運営によって、無駄を省いた効率的な運営と公益的使命に基づくサービスの向上と均質化を目指しています。

番号	現在管理運営している主な施設	所在市区名	業務開始年月	業務区分
1	金沢地区センター	横浜市金沢区	平成7年4月	指定管理業務施設
2	釜利谷地区センター	横浜市金沢区	平成7年4月	指定管理業務施設
3	能見台地区センター	横浜市金沢区	平成13年9月	指定管理業務施設
4	柳町コミュニティハウス	横浜市金沢区	平成14年4月	指定管理業務施設
5	六浦スポーツ会館	横浜市金沢区	平成7年4月	指定管理業務施設
6	並木コミュニティハウス	横浜市金沢区	平成24年9月	指定管理業務施設
7	六浦南コミュニティハウス	横浜市金沢区	平成7年4月	管理業務受託施設
8	小田コミュニティハウス	横浜市金沢区	平成7年4月	管理業務受託施設
9	富岡コミュニティハウス	横浜市金沢区	平成7年4月	管理業務受託施設
10	大道コミュニティハウス	横浜市金沢区	平成7年4月	管理業務受託施設
11	釜利谷西コミュニティハウス	横浜市金沢区	平成9年4月	管理業務受託施設
12	八景コミュニティハウス	横浜市金沢区	平成13年4月	管理業務受託施設
13	並木北コミュニティハウス	横浜市金沢区	平成14年4月	管理業務受託施設

(注) 「業務開始年月」は、金沢区区民利用施設協会からの業務開始で記載しました。

(2) 地区センター等管理運営業務の基本方針について

- ア 設置目的、区政運営上の位置付け
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

ア 金沢区と住民との協働をコーディネートし、まちづくりに貢献します

◆ **金沢区と区民との協働による管理運営を行います**

条例に定める設置目的を達成するために、当協会は、平成7年発足の旧金沢区区民利用施設協会時代から培った運営経験のノウハウを活かすとともに、更に工夫を重ねてきております。特に、当協会は、利用者と地域住民との信頼関係は深く、関係機関や地縁団体、テーマ型市民団体との強固なネットワークを築いており、良質なサービスを提供することができます。

イ 金沢は自然と歴史・文化に恵まれたまちです

金沢は、歴史と文化のまちとして、緑と海に囲まれ自然に恵まれたまちとして発展してまいりました。大規模開発により新たな住民も多く、多様な価値観を持った方々が混在しています。住宅地としての成熟とともに住民の高齢化・少子化が進展しています。

- ◆ 活動の場の提供を通じ、新旧住民の地域コミュニティの支援・醸成に取り組みます。
- ◆ 地域団体、市民団体等と連携し地域の活性化につながる自主企画事業を展開します。
- ◆ 利用者アンケートや利用者懇談会により利用者ニーズを把握するほか、自治会町内会や利用者団体の会議を通じ、利用者や地域のニーズを把握し、運営に取り入れます。

ウ これまでの実績を活かし、公平かつ適正な運営を行います

公の施設は、その管理・運営は公平適正でなければなりません。当協会は公の施設の設置目的である「住民の福祉の増進」のため、次のとおり地区センターを運営します。

- ◆ 利用者から高い評価をいただいているこれまでの管理・運営実績を活かし、利用者の立場にたって公平かつ適正なサービスを提供します。
- ◆ 利用上のルールやマナーを周知徹底し、的確に行うことで信頼を得てまいります。
- ◆ 利用要綱に基づき、高水準のサービスを維持・運営し、他の利用者への公平性を保ちつつ、弾力的に利用者に対応します。
- ◆ 職員研修等により、公正な利用、適正な業務運営等についてのスキルを高めます。
- ◆ 当協会の管理運営について、「第三者評価」で客観的な外部評価機関に評価いただき、高評価を受けております。これまでの実績を活かし、公平かつ適正な運営を行います。

(3) 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

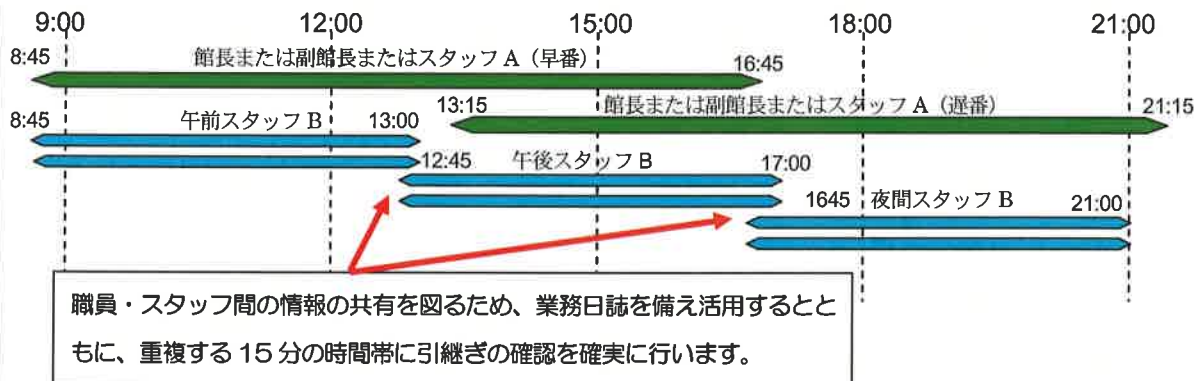
(1) 職員の構成と雇用の形態

〈適材適所でムダを省いた人員体制による管理運営です〉

職 種		人数	雇 用	業 務 内 容 等	
館 長		1	常 勤	運営管理の総括責任者	
副 館 長		1		館長の補助、庶務・経理・事業等の責任者	
ス タ フ ッ フ	A	事務	非 常 勤	館長・副館長の補助、庶務・経理等の補助	
	B	午前		4	利用の受付、図書の出借・返納整理、施設の 維持管理・整理、自主事業等の実施補助、用 具・器具の出借
		午後		4	
		夜間		4	

(2) 勤務体制

常時3人以上の人員が在館するようシフトを組んで円滑な会館運営をします。



(3) 採用条件

地域の施設として情熱がある人を採用します

- ① 公の施設管理であることから、館長は地域活動や地域行政などに精通し、住民対応やマネジメント能力のある人を選考。副館長は地域活動への情熱を重視。
- ② 地域と密着した運営を図ることから、地域への関心、地域活動経験などを考慮して採用します。
- ③ 緊急時に参集できるよう、地域の方を採用しています。
- ④ 公募は、金沢区内の自治会町内会への回覧、ポスター掲示等で周知を図り、近隣地域から職務経験や地域での活動経験等を考慮して採用しています。
- ⑤ 緊急時の対応策として過去に勤務したスタッフをアルバイト登録しています。

(3) 組織体制

イ 個人情報保護等の体制と研修計画

イ 個人情報保護等の体制と研修計画

A 個人情報を「漏らさない」「持ち出さない」体制を構築します

当協会は「個人情報の保護に関する法律」、「横浜市個人情報の保護に関する条例」及び、指定管理業務仕様書の「個人情報取扱特記事項」を遵守し、個人情報を適正に取り扱います。

(1) 責任体制

- ① 館長を責任者とする個人情報保護体制を確立し、当協会が定めた「個人情報取扱要綱」をスタッフ全員に周知徹底し、関連法令とともに遵守いたします。
- ② 各種申込書、申請書等への記載事項は必要最小限にとどめ、二次利用は一切行なわないこととします。また、収集目的を利用者に明示します。
- ③ 必要がなくなった個人情報は、その段階で情報を廃棄いたします。
- ④ 取得した個人情報は、法令または公的機関からの要求がある場合、または、本人の同意がある場合以外は第三者に開示しません。

(2) 当協会がとるべき対策 ～他の漏えい事例をふまえて～

これまでの「個人情報の漏えい事例」の原因は、

- 個人情報データが入った媒体の紛失、盗難
- 伝票など帳票類の誤廃棄
- メール等の誤送達 がほとんどです。

当協会は、次の対策などにより情報の漏えい防止に努めます。

- ① パスワードを設定し、個人情報にアクセスできる担当者を限定します。伝票などの帳票類・データ媒体などは、鍵のかかる場所に保管し、盗難防止に努めます。
- ② データ・帳票類は、持ち出し禁止とします。
- ③ 「個人情報取扱マニュアル」に基づく職員研修で、スタッフの理解度を向上させ、個人情報の厳格な管理を徹底し、情報の流出防止、持ち出し厳禁、パソコン等の盗難防止などを徹底してまいります。

(3) コンプライアンスを徹底します

個人情報保護体制と同様の体制で、各種関連法令を遵守いたします。

B 綿密な研修計画で職員全体のスキルアップに努めます

- ① 業務研修、接遇研修、人権研修、個人情報取扱研修その他必要な研修を行います。
- ② 内部による日常的な研修のほか、外部の専門講師による研修を行います。

新人研修	新規採用時に1回	新規採用者
人権研修	1回/年	全職員・スタッフ
接遇研修	3回/年	全職員・スタッフ
個人情報研修	1回/年	全職員・スタッフ
救命救急研修	1回/年	全職員・スタッフ
AED研修	1回/年	全職員・スタッフ

(3) 組織体制

ウ 緊急時の体制と対応計画

ウ 緊急時の体制と対応計画

地域の方々が安心して利用できる安全な施設づくりに努めます

(1) 事故、災害の予防対策・事前対策

消防関係法規その他の法令を遵守し、防災計画の策定、防災訓練の実施、防犯講習の受講などを通じ、スタッフ全員が防犯・防災意識を高め、地域の方々が安心して利用できる環境を整えます。また、本施設は複合施設となっていますので、他方の施設管理者と連携し安全対策に万全を期します。

- ① 館長を防火・防災・防犯の管理者とし、防災計画や警備計画、緊急時の連絡体制、防犯・防災マニュアル等を策定し、スタッフ全員で共有します。
- ② 消防署や地域団体等と協力して、消防訓練、避難訓練を年2回以上行い、防災力の向上に努めます。また、複合施設の他方と合同で訓練等を行います。
- ③ 市内に大規模な地震、風水害、その他の災害の発生に備え、当館は「帰宅困難者一時滞在施設」として、横浜市と「災害時協力協定」を結んでおり、市・区等行政の災害対策を支援いたします。
- ④ 風水害情報や不審者情報は、迅速かつ正確に利用者に対し随時提供します。
- ⑤ 館内にAEDを設置し、全職員に取り扱いの習熟訓練を適宜実施しています。
- ⑥ 館内で発生したヒヤリ・ハットした事例や、他の施設で発生した事故情報等を参考に、職員間で事故の状況を検証し、施設における防止対策に活かします。
- ⑦ 防犯・防災のため、適宜(5回以上/日)館内を巡回します。また、利用者の貴重品管理や体調管理への気配りを含め、積極的な「あいさつ」「声かけ」を行います。
- ⑧ 閉館時の防災、防犯については、警備会社等と契約し万全を期します。
- ⑨ 施設で事故等が発生した場合に備え、対人補償の対応を確保するため、施設賠償責任保険に加入します。

(2) 事故、災害が発生した場合の対応

緊急時に的確で、迅速な対応が取れるよう、

- ① マニュアルに基づき、館長以下の「緊急時対応マニュアル」は、館内に掲示し、緊急時の対応に努めます。(各室には「避難経路図」の掲示)
- ② 災害発生時の通報文例を警報受信機に常時掲示し、災害の発生に備えております。
- ③ 協会事務局、区役所、消防署、警察署等との連携を確保します。

(4) 施設の運営計画

- ア 設置理念を実現する運営内容
- イ 利用促進策

ア 利用者視点の運営で設置理念を実現します

- ・ 明るく清潔で、幼児から高齢者まで地域のだれもが気軽に利用しやすく親しまれる「居場所」となる地区センターとします。
- ・ 利用者ニーズに的確に対応する各種事業を実施するとともに、サービス向上に努めます。
- ・ 講座や自主事業から発展したサークル化など、地域住民の自主的な活動と相互交流を支援します。
- ・ 公の施設として法令順守、公平な対応、安心・安全の確保、効率的な管理運営を目指します。

イ 利用の拡大を図り、稼働率の上昇に努めます

◇ 能見台地区センターの利用状況は、次のとおりです。

年度	平成21年度	平成27年度	差 引
利用者数	132,619人	152,903人	20,284人
稼働率	73.1%	74.4%	1.3%
利用料収入	4,866,680円	5,088,765円	222,085円

- ① 利用の拡大を図るため、利用者ニーズに応じた施設運営の改善に向けて利用者やセンター委員会、区役所等と協議を進めます。(申込方法の見直し、利用時間枠の見直しなど)
- ② 会議室などの利用希望が重複したような場合は、区内の他の地区センターやコミュニティハウスの空き情報等を共有するなど連携し、利用の促進に努めます。
- ③ センター情報や自主事業などを広く広報するため、チラシやポスターを自治会町内会への配布・回覧・掲示により利用を促します。
- ④ 新規利用者の開拓のため、広報よこはま・金沢区版への掲載、センターだよりの発行、ミニコミ誌の活用などを積極的に進め、地区センターの宣伝に努めます。
- ⑤ ホームページを活用して、講座や自主事業等の広報の充実を図ります。
- ⑥ 図書を充実させ、利用者の拡大を図ります。(現在貸出数2位(全地区センター中))
- ⑦ 併設の地域ケアプラザと連携した事業を展開します。

(4) 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について(※地区センターのみ該当)

ウ 利用料金は、公平・適正で、利用しやすい料金です

◆ 能見台地区センター利用料金

施設名	利用料金 (3時間)	日曜・祭日の 最終コマ (2時間)	* 1時間料金
多目的室	1,080	720	360
多目的室 AB	2,160	1,440	720
工芸室	630	420	210
グループ室	450	—	150
和室	450	300	150
和室 AB	900	600	300
料理室	600	—	300
体育室・全面	1,950	—	650
体育室・1/3	650	—	220

* 利用料金は、3時間利用の場合。ただし、料理室は2時間の利用料金です。

* 利用当日において引き続き利用可能な場合、及び前の時間帯が利用可能な場合は1時間単位でご利用できます。

◆ 上記利用料金に設定した理由

能見台地区センターの利用料金は、横浜市が利用料金制度を導入した際の、横浜市が示した基準単価を採用し、利用料金を設定しております。

各施設 の単価	多目的室・和室・工芸室	4.6円 / m ² / 時間
	グループ室	
	料理室	5.3円 / m ² / 時間
	体育室	1.2円 / m ² / 時間

現在、上記の基準単価を基準に、適正な金額にて施設を管理・運営しておりますので、引き続きこの料金体系で管理・運営を行ってまいります。

◆ 利用促進に向けた利用料金の検討

利用の拡大を図るため、条例の定める額の範囲内での利用料金の見直しに向けて利用者の意見を参考に検討し、区役所と協議を進めます。

- ・ 部屋の稼働動向を踏まえた部屋別料金、時間帯別料金の検討
- ・ 割引制度の導入

(4) 施設の運営計画

- エ 利用者ニーズの把握と運営への反映
- オ 利用者サービス向上の取組
- カ ニーズ対応費の使途について (※地区センターのみ該当)

エ 利用者ニーズの把握と運営への反映**〈利用者ニーズの確実な把握と運営上への反映〉**

- ◆日常的な取り組みとしては、利用申込や利用後の「利用報告書」提出など、利用者が窓口にお見えの機会を捉え、フェース to フェースでご意見を伺っています。
- ◆「ご意見箱」の常設や利用者アンケートの実施、地域及び利用団体等から構成される「センター委員会」、「利用者懇談会」の開催など、多様な機会、手法により利用者のニーズを把握し、運営に反映しています。
- ◆ご意見や提案、苦情の内容と、その対応結果は施設内に掲示し、積極的な対応を利用者にお伝えしています。
- ◆利用者ニーズへの対応は、関係機関との調整や費用対効果などを十分に検討し、自主事業や施設の運営に反映してまいります。

オ 利用者サービス向上

心のこもった接客技術を身につけ、利用者が期待するサービスを的確に把握し、施設を気持ちよく利用してもらうよう努めます。

- ◆年3回以上の接遇研修を行い、あいさつや利用者への対応技術を学びます。
- ◆皆さまからいただいたご意見やご要望に応え、サービスの向上に努めます。
- ◆利用者の利便性・快適性を向上させることを、当協会の第一の責務として日々研鑽に努めてまいります。

カ 「ニーズ対応費」は利用者のご意見を基に、利用者のために使います

「ニーズ対応費」は、利用収入の一部を利用者に還元することを目的としておりますので、利用者の利便性や快適性向上につながるものに充てています。

(・防球ネット更新・卓球台・バトミントンポール、ネット・カラオケ関係・音響装置更新
・料理室食器棚ガラス戸修理など)

- ◆利用収入の還元であることを念頭に、公平かつ適正に対応します。
- ◆過去の実績を踏まえ、利用者からの要望の多い、費用対効果が大きいことなどを考慮し、優先順位の高いニーズより順に対応します。
- ◆ニーズ対応費の使途について、利用者からの意見を利用者会議などで伺います。

(4) 施設の運営計画

キ 本市重要施策に対する取組

キ 本市重要施策に対する取組

◆情報公開・個人情報の保護

施設等で保有する情報の開示は、「金沢区民協働支援協会の保有する情報の公開に関する規程」により適切に運用しています。紙媒体の個人情報は施錠管理。また、個人情報の保護、守秘義務について研修等を行っています。

◆人権尊重（“すべての利用者に人権がある”を基本に）

人が個人として尊重されることは、誰もが安心して市民生活を営むために欠くことのできないものです。市政のあらゆる施策・事業は人権を尊重を基調としている（人権施策基本指針）ように、施設利用者の人権の尊重を基本として運営しています、人権研修（講義、ロールプレイ等）を行っています。

◆環境への配慮

室温の管理、外窓ガラスに断熱フィルム貼付済 エコ製品

◆子育て

ワンパクホリデー（子供向け事業）こどもの居場所づくり こども110番

◆女性・シニアの活躍・活動支援

スタッフに女性スタッフを多数雇用（8割）
協会：キャリア形成 館長、副館長、事務局員

◆健康づくり

健康スタンプラリー事業参加（ヨガ 太極拳等）

◆災害に強いまちづくり

区災害本部との連携により住民の安心・安全のため施設を活用しています。能見台地区センターは、帰宅困難者一時滞在施設になっており、必要な備蓄品等を管理しております。

◆建物施設の保全（公共建築物マネージメント）・備品の性能維持

建築から十年以上経過し、少しずつ施設の修繕・改修が必要な場所が出てきています。長寿命化への対応のため、日常的に職員による、キメ細かい設備など目視、異音などの点検を行っています。また職員による小規模修理の実践し、日常点検により大規模修繕・改修の回避や経費の節減を図っています。（例）イスのカバーの取り替え 椅子などの小破修繕 水道蛇口の小破修理等 ブレーカーなどの備品・部品を生産中止前に確保。

(5) 自主事業計画

(5) 自主事業計画

自主事業について（地域交流推進のために）

自主事業は、地域活動に参加するための機会を設け、地域コミュニティグループの形成につながるよう支援・コーディネートするものです。

自主事業の企画・立案にあたっては、地域の特性や利用者の要望を積極的に取込んで「改廃」「増減」を含め、年々調整しながら、取り組んでおります。

ア 実績を活かし、地域住民に支持される自主事業を展開します

能見台地区センターの自主事業は、下表のとおり、この5年間で参加者数が増加してきており、順当に地域に根差した活動を展開してきております。

		21年度	27年度	増減 (27年度-21年度)
自主事業	講座数	47	42	-5
	延べ回数	273	281	8
	参加総数	17,267	21,506	4,239
うち幼児・児童等を対象	講座数	18	16	-2
	延べ回数	92	114	22
	参加総数	1,790	3,528	1,738

<原則>

- ・地域住民参加の多い自主事業は、今後も内容を検討しながら継続して開催します。
- ・世代間交流できる講座等など、地域ニーズを踏まえた魅力ある自主事業を展開し、更なる参加者数の増加を目指します。
- ・稼働率の低い時間帯を活用するなど、利用率の向上につながる事業を展開します。

イ 地域の方々と一体となって地域交流事業を積極的に進めます

地域の方々と協働で、併設施設のケアプラザとの合同祭、市民活動団体の美術展と同時開催の地域の作品展、こどもまつり、シルバーフェスティバル、スポーツ大会など、当協会の事業の柱である「地域交流事業」を今後も、積極的に進めてまいります。

ウ 誰でも参加できる、よりよい自主事業を行います

自主事業は、誰でも気軽に参加し、楽しく、継続できることが大切であると考えます。幼児から高齢者まで各世代を対象とした事業や、世代間の交流を促進する事業など、多岐にわたって検討し、企画・立案・実施いたします。

自主事業に参加した地域の方々が、事業終了後に自主的にグループやサークルを立ち上げ交流に発展するなど、地域の中で繋がりを深め、さらには、地域のまちづくりや活性化に役立つような活動のキッカケになるよう取り組んでまいります。

(6) 施設の維持管理計画

基本方針

- ① 安全で安心して快適に施設を利用していただきます。
- ② 施設（建築物、建築設備及び建築物の付帯設備）の機能と耐久性を長期にわたって確保するために、「維持保全の手引き」「施設管理者点検マニュアル」等に基づいて、点検、運転、監視、保守を行ない、施設の状態を正しく把握するとともに、適切に維持保全を行います。
- ③ 複合施設（能見台地域ケアプラザ）間の調整をきめ細やかに行います。

ア 保守管理・修繕等の計画

- ◆施設内外の損傷状況、エレベーター、自動扉、防災機器、電気・空調設備及び給排水衛生設備などの保守点検は、それぞれ専門業者に委託し、安全で安心な施設環境を維持します
- ◆建物、設備、備品などの日常的な保守管理は、「設備点検表」を用い行います。
- ◆利用者の退出後は設備等に損傷がないか確認します。
- ◆不具合が発見された場合は、早急に修繕等の対策を講じます。

イ 清掃計画

- ◆エコロジーの観点から利用者のごみは、持ち帰っていただくようお願いします。
また、施設利用後の清掃等をお願いします。
- ◆利用者の退出後の共用部分の日常清掃は、スタッフが行います。
- ◆毎日の清掃は、専門業者に委託して行うとともに、月1回の休館日には、普段できない場所の清掃を、その専門業者に委託して行います。
- ◆年2回の害虫駆除を実施します。

ウ 外構植栽等の管理計画

- ◆環境保全と緑化に努めます。（金沢区区政運営方針）
- ◆敷地内の植栽は、適切な時期に委託による剪定作業を行い、周囲の環境と調和するよう管理します。

エ 保安・警備等の計画

- ◆利用者の安全を第一優先に、館長を責任者とする体制を取り、緊急時に迅速な対応ができるような体制を整備します。（詳細は、「緊急時の体制と対応計画」に記載）
- ◆夜間警備は、専門業者に委託して警備を行います。（年末年始の職員不在時を含む）
- ◆館内外の安全確保のために、館内外の見回りを適宜行います。

オ 効率化、合理化への取り組み

- ◆設備や備品の小破修繕など、スタッフでできることは自前で行います。
- ◆専門業者に委託する業務については、過去の実績等に捉われることなく、競争原理を採用した公平かつ効率的な業者選定を行います。

(7) 収支計画 (収入計画)

ア 収入計画の考え方について

イ 増収策について (※地区センターのみ該当)

ア 収入計画の考え方について

〈利益は公益事業のために使います〉

特定非営利活動法人 金沢区区民協働支援協会は、その利益 (剰余金) は全て公益事業のために使うことが義務付けられている団体です。

収支計画を綿密に検討するとともに、業務の進捗・収支バランスなどの管理により、利益を生み出し、健全な協会運営を行います。

〈当協会で行う公益事業〉

○市民利用施設の管理運営 ○地域交流事業 ○講座開催事業

安定した収入 (指定管理料、利用料金収入、自主事業収入及び雑収入) を得る努力をします。

① 稼働率のアップにより利用料金収入の増大を図ります。

(平成 28 年度の収入は過年度平均稼働率の 2%アップを目指します。)

利用料金収入 4,800 千円

② 地域ニーズを踏まえた自主事業を積極的に推進します。

自主事業収入 8,509 千円

③ 印刷費、自動販売機の単価の見直しにより収入の増大を図ります。

印刷費収入 600 千円、自動販売機収入 700 千円

イ 増収策について

① 利用者サービスの向上と増収を図るため**利用時間枠の見直し**をします。

② 部屋の**利用用途**を柔軟に工夫し、利用者層を拡大します。

③ 自主事業の企画・実施にあたっては、原価 (材料費、講師謝金、人件費) に合った参加費を設定し、**事業採算性**がとれることを原則とします。

④ フロアマット、HP のバナー、地区センターだより等への**広告掲載**を募集します。

(7) 収支計画(支出計画)
ウ 支出計画の考え方について

ウ 支出計画の考え方について

利用者へのサービス水準を低下させることなく、費用対効果を常に考慮し、事務・業務の合理化・効率化等による経費の削減に取り組んでまいります。

〈経費節減の取り組み〉

① 管理費の削減

- ◆機械、設備等の保守点検や清掃業務など、専門業者に委託する業務については、入札制度など競争原理を採用した公平かつ廉価な業者の選定を行っています。
- ◆複数の施設の業務を一括かつ複数年契約で委託することにより保守費用の節減を図ります。
- ◆白熱灯から長寿命蛍光灯・LED化、消費電力や熱源の高い機器台数の制御により、ピーク時の契約電力を抑え、電気料金を節減しています。

② 修繕費の圧縮

- ◆備品や設備の小破修繕、植栽の剪定など、スタッフができることはできるだけ自前で行います。また、スタッフの採用に際しても、このような技能を持った地域の方々を採用するよう努めます。

③ 利用者に備品の適正利用や節水・節電をお願いし、呼びかけを掲示します。

④ スタッフ会議で経費の節減・効率化案を出し合い、適宜実行に移します。

⑤ 管理する全施設の会議で経費削減の取り組み事例を共有しています。

横浜市能見台地区センター自主事業計画書

(様式3)

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
ヨガ教室Ⅰ	一般	658,000	-542,000	1,200,000	650,000		8,000
	120人×2						
	5000円						
ヨガ教室Ⅱ	一般	658,000	-542,000	1,200,000	650,000		8,000
	120人×2						
	5000円						
ヨガ教室Ⅲ	一般	556,000	-524,000	1,080,000	550,000		6,000
	120人×2						
	4500円						
太極拳教室Ⅰ	一般	658,000	-342,000	1,000,000	650,000		8,000
	100人×2						
	5000円						
太極拳教室Ⅱ	一般	658,000	-342,000	1,000,000	650,000		8,000
	100人×2						
	5000円						
太極拳教室Ⅲ	一般	556,000	-344,000	900,000	550,000		6,000
	100人×2						
	4500円						
能見台ウォークⅠ	一般	1,000	1,000				1,000
	30人						
	500円						
能見台ウォークⅡ	一般	1,000	1,000				1,000
	30人						
	500円						
陶芸教室	一般	54,000	-2,000	56,000	5,000	48,000	1,000
	16人						
	3500円						
コントラクトブリッジ教室	一般	61,000	-35,000	96,000	60,000		1,000
	16人						
	6000円						
ギター教室	一般	44,000	-6,000	50,000	30,000	12,000	2,000
	10人						
	5000円						
パン教室	一般	29,000	-3,000	32,000	5,000	23,000	1,000
	16人						
	2000円						
お正月料理教室	一般	38,000	-2,000	40,000	5,000	32,000	1,000
	20人						
	2000円						
おやこ英語	一般	43,000	-5,000	48,000	42,000		1,000
	6組 x 2						
	4000円						

横浜市能見台地区センター自主事業計画書

(様式3)

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
チャレンジ華道Ⅰ	こども・一般	44,200	-7,000	51,200	8,000	35,200	1,000
	10名						
	1,600円/1回						
チャレンジ華道Ⅱ	こども・一般	44,200	-7,000	51,200	8,000	35,200	1,000
	10名						
	1,600円/1回						
チャレンジ華道Ⅲ	こども・一般	35,400	-3,000	38,400	8,000	26,400	1,000
	10名						
	1,600円/1回						
手工芸教室Ⅰ	一般	35,500	-12,500	48,000	10,000	25,000	500
	16人						
	3000円						
手工芸教室Ⅱ	一般	60,500	-19,500	80,000	20,000	40,000	500
	16人						
	5000円						
夏の初めのコンサート	一般・こども	11,000	11,000		10,000		1,000
	200人						
	-						
合同まつり	一般・こども	85,000	85,000		20,000		65,000
	2000人						
	-						
オータムフェスティバル	65歳以上	41,000	-19,000	60,000	6,000		35,000
	200人						
	300						
地域の作品展	一般	2,000	2,000				2,000
	2000人						
	-						
ダンスフェスティバル	一般	26,000	-19,000	45,000	6,000		20,000
	150人						
	300円						
卓球大会	一般	1,000	1,000				1,000
	100人						
	500円						
絵本作家講演会	一般・親子	1,000	1,000				1,000
	50組						
	500円						
こども造形教室Ⅰ	小1～3年生	129,000	1,000	128,000	104,000	25,000	
	16人×2						
	4000円						
こども造形教室Ⅱ	小1～3年生	129,000	1,000	128,000	104,000	25,000	
	16人×2						
	4000円						

横浜市能見台地区センター自主事業計画書

(様式3)

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
こども造形教室Ⅲ	小1～3年生	97,000	1,000	96,000	78,000	19,000	
	16人×2						
	3000円						
ジュニアクッキング	小3～中学生	129,000	-15,000	144,000	40,000	84,000	5,000
	24人						
	6000円						
こどもお菓子教室 (夏休み)	小2～5年生	46,100	-1,900	48,000	10,000	35,600	500
	16人×2						
	1500円						
親子陶芸教室	小学生と保護者	180,500	-11,500	192,000	20,000	160,000	500
	8組×2×2						
	一人3000円						
こどもアロマ教室	幼稚園～小学生	25,500	-4,500	30,000	10,000	15,000	500
	30人×2						
	500円						
夏休みこども手芸教室 (可愛い小物作り)	小学生～中学生	46,500	-4,500	51,000	10,000	36,000	500
	15人×2						
	1700円						
夏休みこども手芸教室 (木工で身近な小物)	小学生	17,500	-6,500	24,000	5,000	12,000	500
	16人						
	1500円						
夏休み理科教室 (低学年クラス・高学年 クラス)	小学生	51,000	3,000	48,000	20,000	30,000	1,000
	80人						
	600円						
こども囲碁教室	小学生～中学生	35,000	-10,000	45,000	30,000		5,000
	15人						
	3000円						
こどもまつり	こども・一般	80,000	80,000		15,000	40,000	25,000
	200人						
	-						
クリスマスおはなし会	こども・一般	9,000	9,000		6,000	3,000	
	50人						
	-						
春休みおはなし会	こども・一般	20,000	20,000		15,000	5,000	
	50人						
	-						
おはなしのへや	こども・一般	28,000	28,000		22,000	5,000	1,000
	20人×11						
	-						
スポーツクラブ事業	幼児～中学生	481,000	-19,000	500,000	480,000		1,000
	各50人						
	1,000～6,000						
合計		5,905,900	-2,603,900	8,509,800	4,912,000	771,400	222,500

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市能見台地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ヨガ教室Ⅰ	約1時間のヨガ。 ヨガを通じて自分の体を知る。ヨガをやるひとときを持つことで心身ともにリラックスする。 定期的にヨガをやることで生活のリズムになる。 参加しやすい形でヨガをやる機会があることで大勢の人がヨガをできる。 地域の健康づくりに貢献。	4-7月・12回 1日2クラス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ヨガ教室Ⅱ	約1時間のヨガ。 ヨガを通じて自分の体を知る。ヨガをやるひとときを持つことで心身ともにリラックスする。 定期的にヨガをやることで生活のリズムになる。 参加しやすい形でヨガをやる機会があることで大勢の人がヨガをできる。 地域の健康づくりに貢献。	9-12月・12回 1日2クラス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ヨガ教室Ⅲ	約1時間のヨガ。 ヨガを通じて自分の体を知る。ヨガをやるひとときを持つことで心身ともにリラックスする。 定期的にヨガをやることで生活のリズムになる。 参加しやすい形でヨガをやる機会があることで大勢の人がヨガをできる。 地域の健康づくりに貢献。	1-3月・10回 1日2クラス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
太極拳教室Ⅰ	約1時間15分の太極拳。 太極拳をすることでバランスがよくなり、集中力が活用なので脳の活性化に役立つ。 定期的に太極拳をやることで生活のリズムになる。 参加しやすい形で太極拳をやる機会があることで大勢の人が太極拳をできる。 地域の健康づくりに貢献。	4-7月・12回 1日2クラス

横浜市能見台地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
太極拳教室Ⅱ	約1時間15分の太極拳。 太極拳をすることでバランスがよくなり、集中力が必用なので脳の活性化に役立つ。 定期的に太極拳をやることで生活のリズムになる。 参加しやすい形で太極拳をやる機会があることで大勢の人が太極拳をできる。 地域の健康づくりに貢献。	9-12月・12回 1日2クラス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
太極拳教室Ⅲ	約1時間15分の太極拳。 太極拳をすることでバランスがよくなり、集中力が必用なので脳の活性化に役立つ。 定期的に太極拳をやることで生活のリズムになる。 参加しやすい形で太極拳をやる機会があることで大勢の人が太極拳をできる。 地域の健康づくりに貢献。	1-3月・10回 1日2クラス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
能見台ウォークⅠ	横濱金澤シティガイド協会と共催 その時々タイムリーな場所を尋ねる。 ガイド協会の人にガイドしてもらいながらの散策 身近な場所の由来等を知り、より親しみを持つ。	5月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
能見台ウォークⅡ	横濱金澤シティガイド協会と共催 その時々タイムリーな場所を尋ねる。 ガイド協会の人にガイドしてもらいながらの散策 身近な場所の由来等を知り、より親しみを持つ。	11月・1回

横浜市能見台地区センター自主事業別計画書 (単表)

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
陶芸教室	陶芸の楽しさを知る。 自分で食器を作り、食を楽しむ	2月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康体操教室	体操で体調を整える。 腰痛の解消も	5-6月・6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ギター教室	家で眠っているギターを思い出して、奏でる。	6-7月・6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パン教室	色々なパンを作る。 自分で作る楽しさを知る。	6月・1回

横浜市能見台地区センター自主事業別計画書 (単表)

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お正月料理教室	野菜を中心としたメニューのおせち料理を作る。伝統のおせち料理を中心に、『今』にふさわしいレシピも紹介する。	12月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
手工芸教室Ⅰ	内容未定 手軽に1回で出来上がる手工芸講座。 興味を持つきっかけにしよう。	10月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
手工芸教室Ⅱ	内容未定 暮らしを豊かにする手工芸の教室。 興味を持つきっかけにしよう。	5月・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
手工芸教室Ⅲ	内容未定 暮らしを豊かにする手工芸の教室。 興味を持つきっかけにしよう。	2月・4回

横浜市能見台地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏の初めのコンサート	日ごろ小さいお子さんを抱えながら練習をしている2つのバンドのジョイントコンサート。 子ども達も一緒に楽しいひとときを過ごす。	6月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
合同まつり	年に1度の大きなお祭り 一階のケアプラザと一緒に開催する。 地区センター会場は『地域の芸能祭』として日ごろ地区センター利用の団体、地域の団体の発表の場として体育室のステージと多目的室のステージでお披露目をしていただく。	10月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シルバーフェスティバル	敬老の日の前後に人生の先輩方に感謝してカラオケ大会とダンスパーティを行う。 カラオケ大会は体育室ステージでスクリーンにカラオケ画面を映して、歌って頂く。 ダンスパーティはダンスサークルが運営。	9月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域の作品展	日ごろ地区センターで活動している手工芸サークルの発表の場。個人での出展も受付ける。 金沢区美術協会の美術展と同時開催で相乗効果で来客数が増える。	11月・1回 (5日間)

横浜市能見台地区センター自主事業別計画書 (単表)

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ダンスフェスティバル	恒例となった新春のダンスパーティ。 チケット前売り制。当日の運営はダンスサークル	1月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
卓球大会	日ごろ地区センターで練習している方、および近隣の方を対象にした親睦のための卓球大会。一人ずつエントリーして、当日抽選でペアを決める。初心者クラスと中級クラス。賞品あり。	3月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
絵本作家講演会	『子供の本箱』主催。 絵本作家を読んでの講演会。地区センターは共催として会場の提供、参加者の受付、当日のバックアップを行う。	8月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こども造形教室 I	低学年の子どもを対象に色々な素材を使い、触ってみてそれぞれ形に作ってみる。 五感を使い、表現する。感性を磨く。	4-7月・8回

横浜市能見台地区センター自主事業別計画書 (単表)

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こども造形教室 Ⅱ	低学年の子どもを対象に色々な素材を使い、触ってみてそれぞれ形に作ってみる。 五感を使い、表現する。感性を磨く。	9-12月・8回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こども造形教室 Ⅲ	低学年の子どもを対象に色々な素材を使い、触ってみてそれぞれ形に作ってみる。 五感を使い、表現する。感性を磨く。	1-3月・6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ジュニアクッキング	小学3年生以上を対象に月に1回お菓子を作る。 イベントにふさわしいお菓子などいろいろな種類のお菓子を作ってみる。お菓子を作ることで『食』に関心を持つ。	11-3月・5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こどもお菓子教室	小学2-5年生が対象の単発のお菓子教室。 夏休みの一日、お菓子を作って楽しむ。 お菓子作りから『食』に関心を持ち、普段の自分のおやつについても考える機会とする。	7-8月・1回 (2クラス)

横浜市能見台地区センター自主事業別計画書 (単表)

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子陶芸教室	夏休みに陶芸に親しむ。 親・子それぞれが作品を作る。 自分が使える食器を制作する。 焼成は講師が行う。	7-8月・1回 (4クラス)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こどもアロマ教室	アロマについてリラックスできることなどを知る。 入浴剤など身近に使えるものを作って使う。	7-8月・1回 (2クラス)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休みこども 手芸教室 (可愛い小物作り)	子供向けの手芸講座 夏休みの宿題お助け講座	7月・2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休みこども 工芸手芸教室 (木工で身近な 小物)	子供向けの工芸講座 木工で小物を作る。	8月・1回

横浜市能見台地区センター自主事業別計画書 (単表)

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み理科教室	低学年クラス、高学年クラスに分けて身近なことを実験して確かめ、理科に興味を持ってもらう。 講師は『おもしろ科学たんけん工房』	8月・1回 (2クラス)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こども生花教室	生花の基本を学ぶ 日本の伝統文化に触れる	11-12月・3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こども囲碁教室	囲碁の基本を学ぶ 囲碁を通して考える力をつける	4-6月・6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こどもまつり	子どもの日の前後にこどもを中心としたお祭りを実施。 多目的室を「お店屋さん」として各コーナー10千セシンの買い物をする。一人50千セシずつ渡す。 お店さんはスタッフが準備・運営する。 地域の人の協力を得て、『昔遊び』『ふしぎあそび』コーナーも作る。地域のボランティアと子ども達、子ども達の親世代との交流の場となる。	5月・1回

横浜市能見台地区センター自主事業別計画書 (単表)

団体名 金沢区協働支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クリスマス おはなし会	『おはなしのへや』のクリスマス版。 多目的室でクリスマスにふさわしい演目を上演する。	12月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
春休みおはなし 会スペシャル	春休みの一日多目的室でおはなし会を行う。 普段なかなかできない大がかりな演目を行う。	3月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなしのへや	毎月第3土曜日午前中プレイルームでのおはなし会。 おはなしボランティア3グループが交代で運営。 1回参加するとシールを貼って3つ集めると手作りおも ちゃをプレゼント	4-3月・11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スポーツクラブ 事業	親子体操教室 バドミントンアカデミー 器械体操教室	4-3月・40回

平成28年度 「能見台地区センター」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	35,884,000		35,884,000		35,884,000	横浜市より
利用料金収入	4,800,000		4,800,000		4,800,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0		0	
自主事業収入	8,509,000		8,509,000		8,509,000	
雑入	1,300,000	0	1,300,000	0	1,300,000	
印刷代	600,000		600,000		600,000	
自動販売機手数料	700,000		700,000		700,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他 ()			0		0	
収入合計	50,493,000	0	50,493,000	0	50,493,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	20,033,000	0	20,033,000	0	20,033,000	
給与・賃金	18,717,000		18,717,000		18,717,000	
社会保険料	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
通勤手当	100,000		100,000		100,000	
健康診断費	16,000		16,000		16,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	2,239,000	0	2,239,000	0	2,239,000	
旅費	6,000		6,000		6,000	
消耗品費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
会議賄い費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	224,000		224,000		224,000	
使用料及び賃借料	14,000	0	14,000	0	14,000	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	14,000		14,000		14,000	
備品購入費	300,000		300,000		300,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	53,000		53,000		53,000	
職員等研修費	30,000		30,000		30,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	402,000		402,000		402,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
事業費	5,906,000	0	5,906,000	0	5,906,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	0		0		0	
自主事業費	5,906,000		5,906,000		5,906,000	
管理費	16,618,000	0	16,618,000	0	16,618,000	
光熱水費	9,744,000	0	9,744,000	0	9,744,000	
電気料金	4,700,000		4,700,000		4,700,000	
ガス料金	2,560,000		2,560,000		2,560,000	
水道料金	2,484,000		2,484,000		2,484,000	
清掃費	2,443,000		2,443,000		2,443,000	
修繕費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
機械整備費	498,000		498,000		498,000	
設備保全費	2,433,000	0	2,433,000	0	2,433,000	
空調衛生設備保守	1,210,000		1,210,000		1,210,000	
消防設備保守	130,000		130,000		130,000	
電気設備保守	500,000		500,000		500,000	
害虫駆除清掃保守	93,000		93,000		93,000	
駐車場設備保全費	500,000		500,000		500,000	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
公租公課	2,367,000	0	2,367,000	0	2,367,000	
事業所税	50,000		50,000		50,000	
消費税	2,317,000		2,317,000		2,317,000	
印紙税	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,730,000	0	1,730,000	0	1,730,000	
本部分	1,730,000		1,730,000		1,730,000	
当該施設分	0		0		0	
二一ズ対応費	1,600,000		1,600,000		1,600,000	
支出合計	50,493,000	0	50,493,000	0	50,493,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

目標設定・自己評価合体版

平成 28 年度能見台地区センター自己評価表

目標設定 の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己 評価
利用者 サービス	<p>事業計画書</p> <p>(2)イ 地域特性、地域ニーズ 地域コミュニティの支援・醸成に取り組み、地域団体、市民団体等と連携し地域の活性化につながる自主企画事業を展開します。</p> <p>利用者アンケートや利用者懇談会、自治会町内会や利用者団体の会議を通じ、利用者や地域のニーズを把握し、運営に取り入れます。</p>			
	<p>ウ 公の施設としての管理 公平かつ適正な、利用上のルールやマナーを周知徹底し、信頼を得てまいります。</p> <p>職員研修等により、公正な利用、適正な業務運営等についてのスキルを高めます。</p> <p>当協会の管理運営について、「第三者評価」で客観的な外部評価機関に評価いただき、高評価を受けております。これまでの実績を活かし、公正かつ適正な運営を行います</p>			
	<p>(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映 日常的な窓口でのご意見を反映させます。</p> <p>「ご意見箱」や利用者アンケート、地域及び利用団体等から構成される「センター委員会」、「利用者懇談会」等で利用者のニーズを把握し、運営に反映しています。</p> <p>ご意見・提案・苦情の対応結果は施設内に掲示し、積極的な対応を利用者にお伝えします。</p>			

	<p>オ 利用者サービス向上の取組</p> <p>年 3 回以上の接遇研修を行い、あいさつや利用者への対応技術を学びます。</p>			
	<p>【数値目標】</p> <p>利用者満足度：H19 横浜市調査 75.6%を 5 ポイントアップ</p>			
業務運営	<p>事業計画書</p> <p>(3) ア 管理運営に必要な組織、人員体制</p> <p>常時 3 人以上の人員が在館するようシフトを組んで円滑な会館運営をします。</p>			
	<p>ウ 緊急時の体制と対応計画</p> <p>① 館長を防火・防災・防犯の管理者とし、防災計画や警備計画、緊急時の連絡体制、防犯・防災マニュアル等を策定掲示し、スタッフ全員で共有します。</p> <p>② 消防署や地域団体等と協力して、消防訓練、避難訓練を年 2 回以上ケアプラザと合同で訓練等を行います。</p> <p>③ 市内に大規模な地震、風水害、その他の災害の発生に備え、当館は「帰宅困難者一時滞在施設」として、横浜市と「災害時協力協定」を結んでおり、市・区等行政の災害対策を支援いたします。</p> <p>④ 館内に A E D を設置し、全職員に取り扱いの習熟訓練を適宜実施しています。</p> <p>⑤ 防犯・防災のため、適宜（5 回以上/日）館内を巡回し、利用者の貴重品管理や体調管理への気配りを含め、「あいさつ」「声かけ」を行います。</p> <p>⑥ 閉館時の防災、防犯については、警備会社等と契約し万全を期します。</p>			

<p>(4) ア 設置理念を実現する運営内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明るく清潔で、幼児から高齢者まで地域のだれもが気軽に利用しやすく親しまれる「居場所」となる地区センターとします。 ・ 講座や自主事業から発展したサークル化など、地域住民の自主的な活動と相互交流を支援します。 			
<p>イ 利用促進策</p> <ol style="list-style-type: none"> ① センター情報や自主事業などを広く広報するため、チラシやポスターを自治会町内会への配布・回覧・掲示により利用を促します。 ② 新規利用者の開拓のため、広報よこはま・金沢区版への掲載、センターだよりの発行、ミニコミ誌の活用などを積極的に進め、地区センターの宣伝に努めます。 ③ ホームページを全面改訂し、講座や自主事業等の広報の充実を図ります。 ④ 図書を充実させ、利用者の拡大を図ります。(現在貸出数2位(全地区センター中)) 			
<p>キ 本市重要施策に対する取組</p> <p>◆情報公開・個人情報の保護</p> <p>施設等で保有する情報の開示は、「金沢区民協働支援協会の保有する情報の公開に関する規程」により適切に運用しています。紙媒体の個人情報は施錠管理を行い、個人情報の保護、守秘義務について研修等を行います。</p> <p>◆人権尊重（“すべての利用者に人権がある”を基本に）</p> <p>施設利用者の人権の尊重を基本して運営しています、人権研修（講義他）を行います。</p> <p>◆環境への配慮</p> <p>室温の管理、エコ製品 LED化</p>			

◆子育て

ワンバクホリデー（子供向け事業）こどもの居場所づくり こども110番

◆女性・シニアの活躍・活動支援

スタッフに女性スタッフを多数雇用（8割）

◆健康づくり

健康スタンプラリー事業参加（ヨガ 太極拳等）

◆災害に強いまちづくり

区災害本部との連携により住民の安心・安全のため施設を活用しています。能見台地区センターは、帰宅困難者一時滞在施設になっており、必要な備蓄品等を管理しております。

◆建物施設の保全（公共建築物マネージメント）・備品の性能維持

建築から十年以上経過し、少しずつ施設の修繕・改修が必要な場所が出てきています。長寿命化への対応のため、日常的に職員による、キメ細かい設備など目視、異音などの点検を行っています。また職員による小規模修理の実践し、日常点検により大規模修繕・改修の回避や経費の節減を図います。

ク アイデア提案を募った項目（該当施設）

(5) 自主事業計画

ア 実績を活かし、地域住民に支持される自主事業を展開します

・地域住民参加の多い自主事業、世代間交流・地域ニーズを踏まえた自主事業を展開し、参加者数の増加を図ります。

イ 地域の方々と一体となって地域交流事業を積極的に進めます

	<p>地域の方々と協働で、併設施設のケアプラザとの合同祭、市民活動団体の美術展と同時開催の地域の作品展、こどもまつり、オータムフェスティバル、スポーツ大会など、当協会の事業の柱である「地域交流事業」を今後も、積極的に進めてまいります。</p> <p>ウ 誰でも参加できる、よりよい自主事業を行います</p> <p>誰でも気軽に参加し、楽しく、継続できるよう、幼児から高齢者まで各世代を対象とした事業や、世代間の交流を促進する事業など、検討し、企画・立案・実施いたします。</p> <p>自主事業に参加した地域の方々が、地域の中で繋がりを深め、さらには、地域のまちづくりや活性化に役立つような活動のキッカケになるよう取り組んでまいります。</p>			
	<p>(6) 施設の維持管理計画</p> <p>① 施設（建築物、建築設備及び建築物の付帯設備）の機能と耐久性を長期にわたって確保するために、「維持保全の手引き」「施設管理者点検マニュアル」等に基づいて、点検、運転、監視、保守を行ないます。</p> <p>② 複合施設（能見台地域ケアプラザ）間の調整をきめ細やかにいきます</p>			
	<p>【数値目標】維持管理費：前年度比±0</p>			
	<p>【数値目標】年間利用者数：前年度比2%増</p>			
<p>職員育成</p>	<p>事業計画書</p> <p>(3) ア 管理運営に必要な組織、人員体制に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p>			
	<p>イ 個人情報保護等の体制と研修計画</p>			

- ① 業務・接遇研修、人権研修、個人情報（マイナンバー含む）取扱研修その他必要な研修を行います。
- ② 内部による日常的な研修のほか、外部の専門講師による研修を行います。

新人研修	新規採用時に1回	新規採用者
人権研修	1回/年	全職員・スタッフ
接遇研修	3回/年	全職員・スタッフ
個人情報研修 (マイナンバー研修含む)	1回/年	全職員・スタッフ
救命救急研修	1回/年	全職員・スタッフ
AED研修	1回/年	全職員・スタッフ

【数値目標】苦情件数：年間10件以下

財務

事業計画書
 (6) 施設の維持管理計画（における効率化の工夫）
 に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの

ア 保守管理・修繕等の計画
 施設内外の損傷状況、エレベーター、自動扉、防災機器、電気・空調設備及び給排水衛生設備などの保守点検は、それぞれ専門業者に委託し、安全で安心な施設環境を維持します
 建物、設備、備品などの日常的な保守管理は、「設備点検表」を用い行います。
 不具合が発見された場合は、早急に修繕等の対策を講じます。

イ 清掃計画
 利用者のごみの持ち帰り、施設利用後の清掃等をお願いします。
 利用者の退出後の共用部分の日常清掃は、スタッフが行います。
 毎日の清掃は、専門業者に委託して行うとともに、月

<p>1回の休館日には、普段できない場所の清掃を、専門業者に委託して行います。</p> <p>年2回の害虫駆除を実施します。</p> <p>ウ 外構植栽等の管理計画</p> <p>敷地内の植栽は、適切な時期に委託による剪定作業を行い、周囲の環境と調和するよう管理します。</p> <p>エ 保安・警備等の計画</p> <p>夜間警備は、専門業者に委託して警備を行います。(年末年始の職員不在時を含む) 館内外の安全確保のために、館内外の見回りを適宜行います。</p> <p>オ 効率化、合理化への取り組み</p> <p>専門業者に委託する業務については、過去の実績等に捉われることなく、競争原理を採用した公平かつ効率的な業者選定を行います。</p>			
<p>(7)ア 収入計画の考え方</p> <p>特定非営利活動法人 金沢区民協働支援協会は、その利益(剰余金)は全て公益事業のために使うことが義務付けられている団体です。</p> <p>収支計画を綿密に検討するとともに、業務の進捗・収支バランスなどの管理により、利益を生み出し、健全な協会運営を行います。</p> <p><当協会で行う公益事業></p> <p>○市民利用施設の管理運営 ○地域交流事業 ○講座開催事業</p>			
<p>【数値目標】</p> <p>イ 増収策</p> <p>① 利用料収入：前年度比0.5%増</p> <p>② 地域ニーズを踏まえた自主事業を積極的に推進します 自主事業収入：前年度比5%増</p>			
<p>ウ 支出計画</p> <p>① 管理費の削減</p>			

	<p>LED化等、消費電力や熱源の高い機器台数の制御により、ピーク時の契約電力を抑え、電気料金を節減しています。</p> <p>② 修繕費の圧縮 備品や設備の小破修繕、植栽の剪定など、スタッフができることはできるだけ自前で行います。また、スタッフの採用に際しても、このような技能を持った地域の方々を採用するよう努めます。</p> <p>③ 利用者に備品の適正利用や節水・節電をお願いし、呼びかけを掲示します。</p>		
	<p>(4) カ ニーズ対応費の使途（地区センターのみ）</p> <p>利用者の利便性や快適性向上につながるものに充てます。 〔・防球ネット更新・卓球台・バトミントンボール、ネット・カラオケ関係など〕</p> <p>利用者からの要望の多い、費用対効果などを考慮し優先順位の高いニーズより順に対応します。</p> <p>ニーズ対応費の使途について、利用者からの意見を利用者会議などで伺います。</p>		
利用者等の意見	<p>利用者等の意見の把握方法</p> <p>日常的に窓口でご意見を伺います。</p> <p>「ご意見箱」の常設や利用者アンケートの実施、地域及び利用団体等から構成される「センター委員会」、「利用者懇談会」の開催など、多様な機会、手法により利用者のニーズを把握し、運営に反映しています。</p> <p>ご意見や提案、苦情の内容と、その対応結果は施設内に掲示し、積極的な対応を利用者にお伝えしています。</p>	意見、要望に対する対応	

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載